



可視化情報学会 論文テンプレート*

— 見本 —

氏名¹⁾, 氏名²⁾, 氏名³⁾

English Title

Given FAMILY, Given FAMILY and Given FAMILY

ABSTRACT

Keywords: Flow visualization, Visualization Society of Japan, Numerical simulation

1. はじめに

可視化情報学会論文集に掲載される論文は、可視化情報の技術、応用計測、理論・原理、解析およびそれらに関連のあるもので、会員間の意志の疎通、知識の交換および相互の啓発に有効なものとする。可視化情報学会論文集に掲載される論文の規定最大ページ数は 8 ページとする。編集委員会が特に認めたもの以外は、規定ページ数を超えてはならない。可視化情報学会論文集に掲載される論文は、オンラインジャーナルとして J-Stage 上で公開され、毎月更新される。論文発行日はオンラインジャーナル公開日とする。

2. 論文の体裁

1 ページは 25 字×48 行×2 段=2,400 字である。合本集は A4 版である。論文は和文または英文とする。本文の前に 150 語程度の英文抄録と 3 個以上の英文キーワードを入れる。原稿は本要領添付の「原稿見本」を参照して、図表を含み、大きさ、割付ともにできるだけ原稿見本の体裁に仕上げる。本文の書き方および図表等の作成方法は本要領別項 1「本文について」および別項 2「図表等の作成方法」に従う。図表には番号 (Fig.***, Table *** 等)を含め英文を用いる。本文中では右図や下表という表現はせず番号で示す。写真には図とみなす。写真には撮影条件を記入することが望ましい。投稿の際には本要領別項 3 の「論文投稿用提出物」を提出する。論文の採否は査読委員の審査を基に編集委員会で決定する。掲載

が決定した論文の表題、著者、内容を変更してはならない。
論文の掲載料を徴収する。初回投稿時 8 ページ以内 1 編 25,000 円とする。初回投稿の段階で 8 ページを超過している場合は、超過 1 ページにつき 5,000 円を加算する。別刷りを希望する著者には有償 (50 部あたり 10,000 円) にて配布する。

3. 投稿・連絡先

論文修正時あるいは掲載決定後を除き、原稿は web 投稿のみとし、

<http://www.vsj.or.jp/tvsj/>

から行う。また、論文に関する問い合わせ先は

論文集編集担当

E-mail: tvsj@visualization.jp

または、

(社) 可視化情報学会 事務局

〒114-0034

東京都北区上十条 3-29-20 アルポール上十条 103 号

TEL/FAX: 03-5993-5020/03-5993-5026

である。

4. 別項1 本文について

- (1) 投稿された論文の編集作業は、原則として提出された PDF 原稿をもとに行う。
- (2) 句点はピリオド (.), 読点はカンマ (,) を使用する。
- (3) 量記号 (X, Y, a, b 等, 数量の代わりに用いる記号) は斜体, 単位記号は立体とする。

* 原稿受付 ****年**月**日

1) 正会員 可視化大学 工学部 (〒114-0034 東京都北区上十条 3-29-20, E-mail: info@vsj.or.jp)

2) 正会員 情報大学大学院 工学研究科

3) 学生員 可視化情報研究所 流体工学研究部

- (4) 単位は SI を用いる.
- (5) 数式は、マイクロソフトワード 2010 に標準装備されているエディタ、マイクロソフトワード 2007 以前の数式エディタ 3.0 などを用いて作成すること.
- (6) 参考文献は文中に上付き片括弧の通し番号を付け、本文の後にまとめる. 詳しい記述の仕方については、後述する.
- (7) Table 1 に示すような文字は一部のコンピュータによって表示されないか、文字化けするなどの不具合が生じコンピュータの機種に依存するため、本文中で使用しないこと.

Table 1 機種依存文字の一覧

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	
IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	ミ	キ	セン	メル	
グ	ト	アル	ヘル	リッ	ワツ	カ	ド	セン	パ	ミ	
ム	ン	ル	ル	トル	リ	ロ	ル	ト	ベ	バ	
シ	mm	cm	km	mg	kg	cc	m ²	∞	No.	KK	
TEL	Ⓔ	Ⓜ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	(株)	(有)	(代)	囗	大正	
囗	囗	≡	∫	∫	Σ	√	⊥	∠	└	└	
∴	∩	∪									

5. 別項2 図表等の作成方法

5.1 図表の作成

ここでは、図表の作成および編集上の取扱いについて述べる.

- (1) 図表は、PDF 原稿に割り付けられたものを直接印刷版下として使用する.
- (2) 論文集は 2 段組であり、図表は 1 段 (幅 80mm) 又は 2 段 (幅 170mm) の寸法に割り付ける. ただし、複数の図表を組み合わせると 2 段の寸法にすることは可能である.

5.2 原図の作成

原図の作成には次のような注意が必要である.

- (1) 鮮明であること. 判読不能な文字や部分がないこと.
- (2) 無用の空白が無いこと. 本文の説明に必要なでない部分ではできるだけ削除する.
- (3) 紙面の図表中で読み易い文字の最小の高さは英数字で 2mm, 漢字で 2.5mm 程度である. 下付き等の文字は最小でも 1.5mm 程度になるようにする.
- (4) 文字を縮小すると線も細くなるから、原図にはゴシック体を用いる等の対策を施す.
- (5) 量記号 (X, Y, a, b 等、数量の代わりに用いる記号) は斜体、単位記号は立体とする.
- (6) 単位は SI を用いる.
- (7) 図表への文字等の貼込みは著者が行う.
- (8) 図表のキャプションは英語で記し、先頭の文字のみ大文字としそれ以降は小文字で表記する. 最後にピリオ

ド「.」を付ける. (a), (b)等のサブキャプションにはピリオド「.」は付けない.

5.3 割付けおよび仕上がり確認

論文を投稿する前に図表の割り付けを行う.

- (1) 図表等を含む全体の割付け案を PDF 原稿上に図表を貼り付けて示す. 図表を論文掲載時の寸法に合わせる. さらにその仕上がりを確認しておく. 特に図表の文字の大きさおよび線の太さを十分に確認する. また、図表番号と本文との対応関係を確認する.
- (2) 実際の割付けは著者の希望通りにならない場合もある.

6. 別項3 提出物

論文を投稿する際には、6.1 論文投稿用提出物のみを提出すること. また、本会論文集に掲載が決定した場合には、6.2 掲載用提出物 1 (印刷物)、掲載用提出物 2 (電子ファイル) を提出すること.

6.1 論文投稿用提出物

- (1) 論文投稿時には、投稿専用 web ページ: <http://www.vsj.or.jp/tvsj/>の投稿用フォームに必要事項を記入すること.
- (2) 論文査読用 PDF 原稿(max 20MB)
- (3) 動画圧縮ファイル (オプション(max 20MB))

6.2 掲載用提出物

論文の掲載が決定した場合には、下記のものを送付先に郵送にて提出する.

- (1) (印刷物)論文調査表(A), (B)各 1 部→掲載可の通知とともに送付される調査表に必要事項を記入し、下記の住所あてに郵送にて提出する.

〒114-0034

東京都北区上十条 3-29-20 アルボオル上十条 103 号
(社) 可視化情報学会 事務局

- (2) (電子ファイル) 電子ファイルオリジナル原稿のワードファイル、レイアウト確認用の PDF ファイル、英文抄録のワードファイル、和文抄録のワードファイルを各 1 部ずつ、下記のアドレス宛に提出すること. 電子ファイルの名前には、論文受付番号、著者名 (代表者名) を含むものを用いること.

提出先メールアドレス : tvsvj@visualization.jp

印刷所において組版用コンピュータで使用できる形に変換される. 電子ファイルから変換できない部分は、掲載用原稿に従い組版コンピュータ上で入力される.

参 考 文 献

- 1) 可視化太郎, 情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol.100, No.1000 (1998) pp.11-12.
- 2) 永野進: 学会誌掲載論文のオンラインジャーナル化への試行について, 可視化情報学会誌, Vol.1.20, No.79 (2000) p.100.
- 3) 高藤亮一, 山中昭央, 小原哲郎, 蔡品, 大八木重治: 回折する

衝撃波の挙動に関する研究(第1報, 衝撃波の回折と反射過程),
日本機械学会論文集(B), Vol. 65, No. 639 (1999) pp. 3602-3607.

- 4) Ohyagi, S., Obara, T., Nakata, F., Hoshi, S. : A numerical simulation of reflection processes of a detonation wave on a wedge, Shock Waves, Vol. 10, Issue 3 (2000) pp. 185-190.